

9月21日 臨時朝会でのお話

皆さんおはようございます。

夏休みが明けて、分散登校も終わり、ようやく全員がそろいました。
新型コロナウイルスの感染が広がって、近くでも感染者が急に多くなったので、それもやむを得ません。
後から島田先生にお話をさせていただく内容をよく守って、皆さんには引き続き健康に過ごしてほしいと思っています。

さて、今回の分散登校をよい機会にして、皆さんにおうちでもタブレット学習をたくさんしてもらうようにしました。
このタブレットはとても優秀な機械で、学ぶ、見る、聞く、調べる、作品を作る、人とつながる、体験するなど多くのことが、操作するだけで出来てしまいます。
このタブレットやスマートフォンなどをはじめとするコンピューターをどう使っていくかが、みなさんのこれからの人生に大きく影響します。

今、皆さんが知っている街の様子も、コンピューターの仕業でこれから大きく変わっていくと言われていています。
例えば、スーパーやコンビニエンスストアのレジ。
今は何かを買おうというとき、買い物かごに商品を入れてレジに持っていきますね。
それを店員さんが一つ一つ手に取ってバーコードに機械をピッとかざして、お会計はいくらいくらですと言ってくれます。
その金額を現金やカードで支払っています。
でもこれから5年くらいすると、かごに商品を入れるだけで、何を何個入れたかが自動的に分かって、レジに並ぶ必要がなくなると言われています。もしかしたら支払いもお店を出ただけで自動でできるかもしれません。

ほかにもたくさんの方が皆さんが大人になるまでの間にびっくりするくらい変わっていくでしょうし、そしてそのすべてには、コンピューターが関係してきます。

皆さんが将来就く職業も、大体はコンピューターに関係することになるでしょう。
ですから、小学生のうちから、コンピューターと仲良くすること、そしてそれとともに正しい扱い方を知っておくことが必要です。
コンピューターは皆さんを強くする鎧にもなるし、でも使い方によっては人や自分を傷つける刃にもなってしまいます。
皆さんの今は、将来の皆さんを作ります。
コンピューターは、ゲームやラインやメールなどでなく、皆さんの将来につながる学びのことに多く使ってほしいと思っています。